

# 『ゴミ拾いボランティア』初実施！

生徒会主催の新たな取組として立ち上がった『ゴミ拾いボランティア』。

雨のため2回の延期を経て、ようやく実施することができました。

初の試みであったこと、中止→次回の予定を2回繰り返したこと、正直言って、それ程全校生徒の意識は高くないだろうなあと感じていました。

しかし、その予測とは相反して、嬉しい姿に数多く出会いました。

まずは、企画・運営をしている生徒会メンバー（学園台バス利用者・徒歩通学者）の登校が早かったこと。早く登校する生徒たちが、ゴミを持ってきても、担当者がいなかったらその処理に困ること、企画・運営側が一人もいなかったら、今後の協力しようとする意識が弱くなってしまうこと等、責任ある行動だと思いました。

次に、徒歩通学者の半数程度が家庭から持参のゴミ袋を持っていたこと。ただ、それほど多くのゴミは入っていませんでした。

続いて、その後に登校した生徒たち。明らかにゴミ袋のない生徒たちに「ボランティアは？」と聞くと、「ゴミが落ちていませんでした。」という回答が複数でした。即答したところから察するに、ゴミ拾いの意識は確実にあったと言えます。

何より、先に通った生徒たちのゴミ袋の中のゴミも少なく、続いた生徒たちのゴミがなかったという回答から、校区内のきれいさが容易に予測できます。これが、一番喜ばしいことです。

『ゴミ拾いボランティア』といった取組がないと、ゴミの多さ、汚さを感じても、なかなか実行に移すことはできないかもしれません。しかし、まずは目を向けられる意識、それに対する想いを抱くことが大切です。

生徒会の皆さん、なかなか実施することができずにヤキモキしたこともあったでしょうが、願いをもった取組を行ったからこそ、全校生徒の多くにも伝わったと思います。

よく頑張りましたね！



